

令和 6 年度

児童発達支援自己評価・集計結果

従業者向け

10部配布した結果、10部の回答あり（回収率100%）

（所長1名・児童発達支援管理責任者1名・保育士・児童指導員5名・厨房職員2名・運転手1名）

西北五広域福祉事務組合
ステップアップセンターもりた

従業員向け

児童発達支援の自己評価表

		チェック項目	はい	わからない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	事業所で決めた改善点・今後に向けて
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員に対して十分なスペースがあり適切である。 ・静の活動を行える個室、動の活動を行える広い空間が確保されている。 ・地域療育等支援センターが隣接している為、広く身体を動かせる場所や、個別課題を行いやすい部屋があり、スペースは十分ある。 ・活動に応じて利用するスペースを分けている。 ・指導訓練室等のスペースは十分な広さを確保している。 ・指導訓練室と地域療育等支援センターがあり、活動によって使い分けることが出来る。 	複数の指導訓練室や広く身体を動かせる場所があります。個別活動や集団活動、特性に合わせた活動が出来る環境となっています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・決められた配置数以上の職員がいるが、保護者からは分からないとの回答があったので、周知していく必要がある。 ・職員数は、国の基準を満たしている。利用児童一名に対して、一名の支援者が配置出来る環境を整えている。 ・国の基準を満たしている。 ・国が定める人員配置の基準を満たしている。 ・適切である。 ・国の基準を満たしている。 	国の基準を満たす人員を配置しています。

3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の伝達等、環境上の配慮が適切なのかと感じる。 ・事業所内は、全てバリアフリーとなっている。一人に一つのロッカーがある。洗面所やトイレ等にはピクトグラムが示されている。 ・事業所内は全てバリアフリー化されている。また、部屋の中はパーテーションで仕切られ、構造化されている。保護者から、部屋が少し暑いと感じたところのご意見があった。気温計を設置しているので、今後はこまめに確認し快適な温度で過ごせるようにしていきたい。 ・来所後の所作（荷物を置く、連絡帳を出す等）に合わせた動線に構造化されている。また、全館バリアフリーとなっている。 ・事業所内はバリアフリーとなっている。 ・利用者が分かりやすいように、イラストや絵カード、写真等を用いて構造化を図っている。保護者会や支援計画説明時等で来所の際には、事業所内の説明をする機会を設ける。 	全館、バリアフリーとなっています。子ども達の特性を把握しながら、安心して行動できる環境を整えています。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・指導訓練室が熱いと感じた保護者の回答があった。指導訓練室には温度計があるので、季節に合わせた適温を決めたらいいのではないかと感じる。 ・毎日、館内の清掃・消毒を行っている。必要に応じて、換気等も行うようにしている。 ・地域療育等支援センターが隣接している為、広く身体を動かせる場所や課題を行う部屋がある。 ・毎日消毒や清掃を行っている。活動に応じて個室や指導訓練室、支援センター等を使い分けている。 ・毎日、部屋の消毒を行っている。 ・毎日清掃を行い、管内の消毒も実施している。また、環境を整えながら活動に合わせた空間を確保している。 	保護者のご意見を真摯に受け止め、室温計を活用しながら常時適温を保つようにします。また、子ども達に心地良く過ごしてもらえるように整理整頓を徹底していきます。

	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・その日の支援の様子を連絡帳に記載しているが、知ってもらう為には、支援場所を伝える事もいいのではないかな。 ・いつでも使用出来る環境となっている。 ・普段使っていない部屋も使える環境にある。 ・個別課題の他、その子の特性やその日の気分に応じて個室を使用することができる。 ・必要に応じてこどもが過ごす個室が用意されている。 ・個別の部屋ではなくパーテーションを活用し、活動内容に合わせて空間を設定している。 	特性を見極めながら、本人の要望に応えられる環境を整えています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・参画はしているが、PDCA サイクルは実施していく必要がある。 ・チームの職員で話し合い、情報共有している。他、気付いた点等伝えるようにしている。また、ミーティングやチーム会議等でも伝えるようにしている。 ・業務等の振り返りを行い、次回に繋げるようにしている。 ・会議やミーティングで情報を共有し、話し合いの場を設けている。 ・日々のミーティングやチーム会議で情報を共有している。 ・PDCA サイクルに沿ってミーティングやチーム会議を行い、情報共有している。 	PDCA サイクルに沿ってミーティング等で職員が参画出来る環境を整えています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・評価表を集計し保護者の意見を把握した中で、この評価表を記入している。保護者の意見を真摯に受け止めながら業務改善に繋げる必要がある部分は即対応する必要がある。 ・保護者への評価表を実施し、集計を基に改善策検討会議を実施している。 ・保護者向け評価表を書いてもらった後に集計し、この従業者向け評価表を記載している。 ・保護者向け評価表を配布し、集計した後に業務改善へ向けて全職員で話し合っている。 ・保護者向けの評価表を基に話し合いを行っている。 ・保護者向け評価表を実施。集計後に改善開削会議を行い、業務改善につなげている。 	保護者の評価表を真摯に受け止めながら、改善策検討会議を行っています。改善すべき点について話し合いをしたので今後に繋げるようにします。

	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋がっているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングやチーム会議を用いて、参画できる体制を取っている。 ・毎日のミーティングや、その都度意見を出しながら、改善に繋がっている。 ・業務について、よりよい方法を考えている。しかし改善に繋がっているかは自信がない。 ・毎日のミーティングやチーム会議では、より良い支援に向けて職員が活発に意見交換している。 ・ミーティング等で話し合われている。 ・ミーティングやチーム会議で意見交換をしながら、業務改善につなげている。 	ミーティングや会議を通して、支援者の意見を改善に繋がっています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト面や人材探しが難しい状態なので専門的に評価する方ではないが、行事参加を通して、職員の対応や環境等の評価をしてもらい業務改善に繋がっている。 ・近隣の保育園が交流事業で来訪した際アンケートを配布、その意見を基に業務改善へ繋がっている。 ・交流会できた施設に対してアンケートを実施し、その中であつた意見を基に見直している。 ・外部へはアンケートを配布し、回答を基に業務改善に繋がっている。 ・近隣保育園等との外部事業でアンケートを実施している。 ・さくらんぼ狩りや栗拾い交流会に参加して頂いたこども園や小学校にアンケートを実施。評価結果を基に業務改善につなげている。 ・平成30年7月実施。今年度は行っていない。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	交流会に参加していただいた保育園やこども園へアンケートを配布して評価をしていただきました。次年度も外部評価に繋がる内容を検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保しているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修やWeb研修を含んだ外部研修に参加している。 ・内部研修も含め、外部研修等参加出来る環境は確保されている。 ・外部研修やWeb研修に参加したり、組合内で職員研修などを行っている。 ・外部研修に参加し、それをもとに内部研修を行っている。 ・外部や内部研修に参加している。 ・内部研修のほか、外部研修にも参加している。 	内部研修も含め、支援者全員が研修に参加しています。今後も研修に参加しながら支援者のスキルアップを目指します。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・現在作成中で、3月までに完成させて公表する。 ・現在作成中である。 ・現在来年度に向けて作成中である。 ・現在作成中であるため、公表されていない。 ・支援プログラムが作成されている。 ・現在作成中である。 ・HPに記載している。 ・運転業務が主のため、わからない。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	現時点で作成していないので、3月までに完成させて公表します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを行い、利用者と保護者のニーズを組み込んだものを計画書として作成している。 ・児童発達支援管理責任者のもと、アセスメントを実施、保護者や利用児童の要望を聞きながら、個別支援計画を作成している。 ・アセスメントシートを使用してアセスメントを行い、子どもと保護者のニーズを聞いた上で計画を作成している。 ・アセスメントシートを使用し、一人ひとりの全般の情報を整理したうえで、本人や保護者の要望とすり合わせながら計画を作成している。 ・アセスメントを基に支援計画を作成している。 ・アセスメントを基に保護者や利用児童の要望を踏まえて、児童発達支援管理責任者が作成している。 ・運転業務が主のため、わからない。 	アセスメントを行い、利用者と保護者のニーズを確認しながら、個々に合わせた計画書を作成しています。

13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者1人の偏った見方での計画書にならないように、直接処遇者の意見を反映させるようにしている。 ・支援計画作成の際は全職員が参加し、サービス年間支援目標策定会議を実施している。 ・児童発達支援管理者が原案を作成し、それを基に職員全員が参加して目標策定会議を実施している。 ・事業所職員全員参加の会議を行ったうえで個別支援計画を作成し、子ども一人ひとりの目指すべき方向性や支援内容の共通理解を図っている。 ・支援計画は、児童発達管理責任者が作成し、担当職員にも周知されている。 ・作成は児童発達支援管理責任者が行い、それを基に会議を実施し職員で意見を出し合っている。 ・運転業務が主のため、わからない。 	児童発達支援管理責任者だけではなく、直接処遇者と意見交換しながら、個々のニーズに合わせて計画を作成しています。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・会議やミーティングを通して職員間に共有されているが、計画に沿っていなければ声を掛けて沿えるように伝えている。 ・チーム会議やその都度情報を提示してもらいながら、計画に沿った支援が行えるようにしている。 ・それぞれの目標を把握しながら支援を行っている。 ・チーム会議やミーティングのなかで、計画に沿った支援が適切に行われているかを確認し、話し合っている。 ・計画に沿って支援している。 ・会議で情報共有をし、支援計画に沿った支援を行いつつ、その中で楽しみながら取り組めるように支援しています。 ・運転業務が主のため、わからない。 	職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の行動を見逃さずに、確認するようにしている。 ・事業所独自のアセスメントツールを使用し、書類の作成を行っている。 ・アセスメントシートを使用してアセスメントを行っている。また、日々の行動観察についても適切に記録するように心掛けている。 ・保護者へは連絡帳を使用し情報共有を行っている。職員間では業務日誌等にて状況を確認している。 ・アセスメントツールを用いて作成されている。 ・確認している。 ・運転業務が主のため、わからない。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	支援者間で、適応行動の状況を確認し合っています。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に必要な項目は全て入れた上で、利用者と保護者の意見を組み込み具体的にしている。保護者へ説明し同意を得ていますが、保護者から分からないとの回答があった為、何度か説明を繰り返してもいいと思う。 ・ガイドラインに沿って、支援計画の内容を設定している。 ・子どもや保護者のニーズを踏まえ、5領域に沿って支援内容を設定している。 ・アセスメントをとり、本人や保護者のニーズに合った支援計画を作成している。 ・ガイドラインを参考にしながら、支援計画を設定している。ガイドラインの内容について配布または保護者会で伝えていくといいのではないか。 ・ガイドラインを確認しながら、支援内容を設定している。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	利用者一人ひとりに合わせた項目を設定し、具体的に支援内容を設定しています。

17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行事に関しては複数の職員をチームとして行っている。 ・個別支援に関しては、担当者が立てている。行事に関しては、主担・副担が立案、係り分担をして実施している。 ・児童発達支援のチームが話をしている。 ・個別課題は主にケース担当者が立案している。集団活動については、みんなが楽しめるような内容を事前に話し合っている。 ・基本担当職員が立案しているが、活動に応じてチームで行っている。 ・主担当がプログラムを作成し、支援前に確認をし合っている。 ・運転業務が主のため、わからない。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	支援者用のタイムテーブルに、支援内容の項目を加えながらチームで確認しています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・固定化しないように、声を掛けている。 ・個別支援、集団活動等、本人の要望に応えながら固定化しないようにしている。 ・児童発達支援のチームが話をしている。 ・子どもの特性やその日の状況に応じ、本人の意見を取り入れながら活動内容を決めている。 ・固定化しないようにしている。 ・固定化しないように工夫している。 ・運転業務が主のため、わからない。 	支援を振り返り、固定化しないように工夫しながら支援を提供しています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	3	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜組み合わせで計画書を作成している。支援内容に関しては、目的意識を持つ事が必要なのかもしれない。 ・子どもの状況や特性を考慮しながら、計画を作成している。 ・子どもや保護者のニーズを把握して目標を定めて計画を作成し、支援を行っている。 ・子どもの特性や状況を踏まえながら、個別活動と集団活動を組み合わせた計画作成及び支援を行っている。 ・個別活動と集団活動を行っている。 ・特性を考慮し、個別、集団活動を組み合わせながら計画を作成している。 ・運転業務が主のため、わからない。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	個別活動では本人中心の課題を提供し、集団活動では他児を交えた中で順番を守ったり、協力し合ったり、相手の思いを感じられるようにしています。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	3		<ul style="list-style-type: none"> ・行事前は行っているが、日々の支援前には行う事が少ない。事前に職員のタイムテーブルを作成、周知する事で、役割分担や支援目的を含めた中での支援内容が分かると感じる。 ・毎日のミーティングやタイムテーブルを活用しながら、役割分担等確認している。 ・送迎車内等で話をしながら、確認している。 ・ミーティングで確認するようにしている。 ・必ずではないが必要に応じて打ち合わせをしている。 ・毎日ミーティングを行い、情報共有をしているが、送迎の関係で参加出来ない日もある。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	タイムテーブルに支援項目を加えながら、支援者同士が内容等を共有し、役割分担について確認していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の様子はもちろん、支援者側にとっても振り返りや気付いた点は共有する必要がある。 ・ミーティングで、振り返りや気付いた点等情報共有している。 ・自分で気が付いた点は伝えるようにしている。 ・送迎の関係で支援終了後に職員全員で話す時間はないため、翌日のミーティングにて振り返りや、気付いた点等を共有している。 ・必ずではないが必要に応じて打ち合わせをしている。 ・終了後は勤務時間の関係で難しい為、翌日のミーティングで共有している。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	ミーティングやチーム会議等を通して、支援の振り返りや情報共有をしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・支援の検証・改善に繋がっているのか疑問に感じる事がある。 ・毎日業務日誌へ記載し情報共有したり、サービス提供記録へ記載し支援の内容の振り返りを行うようにしている。 ・児童発達支援の記録を書く事は少ないが、記録を取る際は正しく記載するように心掛けている。 ・業務日誌やサービス提供記録に記録している。 ・業務日誌にその日の活動を記録している。 ・一部記録が抜けている。早急に提出するように。 ・業務日誌に支援内容の他に気になった姿等を記入している。 	「正しく書く記録」を徹底し、支援の検証や改善に繋がっています。

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・会議を実施する事で、偏った評価にならないようにしている。 ・モニタリングは全職員で、定期的に行っている。 ・必要に応じてモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。 ・全職員でモニタリング会議を行っている。 ・行っている。 ・モニタリング会議を行っているがその前にチーム会議を実施し、意見交換を行っている。 	モニタリングを行う見直し会議には、全職員が参画しています。今後も継続しながら、個々の支援計画の見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての利用者が同系列の相談支援事業所を利用しているので連携が取りやすい環境である。そのため会議とまではいかないが、日々情報交換をして、ミーティングで伝えている。 ・機会があれば、児童発達支援管理責任者が参画している。 ・当事業所を利用している子は、同組合にある相談支援事業所でサービス等利用計画を立てている為、常に情報交換が出来る環境にある。 ・会議には主に児童発達支援管理責任者が参画している。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・運転業務が主のため、わからない。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	主に児童発達支援管理責任者が参画していますが会議の内容は支援者間で共有しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携している。 ・連携して支援を行う体制は整っている。 ・教育委員会と連携し、就学へ向けて情報提供・共有をしたり、就学先である養護学校へ情報提供を行っている。 ・主治医の意見書等については、保護者を通して情報等を伝えてもらっている。 ・保育園と連携を図りながら支援している。 ・体制を整えている。 ・運転業務が主のため、わからない。 	体制を整えています。

26	<p>併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。</p>	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園やこども園との情報共有と相互理解を図っている。 ・必要に応じて情報共有しながら、相互理解を図っている。 ・担当職員が保育園、こども園との情報共有、相互理解を図っている。 ・保育所等訪問等にて情報共有を行い、共通理解を図っている。 ・必要に応じて保育園や養護学校と連携を図りながら支援している。 ・担当支援員が訪問し、情報共有と相互理解を図っている。 ・運転業務が主のため、わからない。 	<p>関係機関と情報を共有しながら、相互理解が図れるようにしています。</p>
27	<p>就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。</p>	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校と情報共有を図り、学校での体験活動への参加を促しながら相互理解を図っている。 ・必要に応じて情報共有しながら、相互理解を図っている。 ・就学先である養護学校に情報提供を行っている。 ・アセスメントや来所時の様子などを伝達し、情報共有を行っている。 ・特別支援学校と連携を取っている。 ・全てではないが、小学校の保育所等訪問で連携し、共有している。 ・運転業務が主のため、わからない。 	<p>対象児童に対しては、関係機関との情報共有や相互理解を図っています。</p>
28	<p>地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。</p>	6	2	2 <ul style="list-style-type: none"> ・当事業所が児童発達支援センターでもあるので、所長がスーパーバイザーとしての助言を保護者に向けて行っている。 ・主催する研修に参加したり、復命書にて職員間で情報共有出来る環境は整っている。 ・近隣のこども園等を招待し、研修会などを実施している。 ・地域の児童発達支援センターと連携を図っていない。 ・地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図っている。 ・今後の課題です。 ・所長がスーパーバイザーとして助言を行っている。 ・運転業務が主のため、わからない。 	<p>児童発達支援事業所からの問い合わせに応じ、質の向上に繋げています。</p>

29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修やWeb研修を含んだ外部研修に参加している。 ・外部研修等、参加出来る環境は整っている。 ・外部研修やWeb研修に参加している。児童発達支援部会や児童・療育部会に参加している。 ・外部研修に参加し、それをもとに内部研修を行っている。 ・外部研修に参加している。 ・内部研修のほか、外部研修にも参加している。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	内部研修を含め、全支援者が研修に参加しています。今後も研修に参加しながら、支援者のスキルアップを目指します。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・代表者が参加し情報を共有している。 ・日程が合えば参加し、その際は情報を職員間で共有している。 ・児童発達支援部会や児童・療育部会に参加している。 ・参加している。 ・適した者が参加している。 ・代表者が参加している。 	代表者が参加し、その内容を支援者間で共有し続けます。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所が児童発達支援センターでもあるので、所長がスーパーバイザーとしての助言を保護者に向けて行っている。 ・研修に参加したり、復命書にて職員間で情報共有できる環境は整っている。 ・今年度、研修等は行っていないが、連携を図って情報共有等行っている。 ・今年度は事足りている。必要性を感じない。 ・地域の児童発達支援センターと連携を図っていない。 ・所長からスーパーバイザーとして必要に応じて助言してもらっている。 ・運転業務が主のため、わからない。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	当事業所が児童発達支援センターでもあるので、スーパーバイザーとしての助言を行っています。

	32	<p>保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。</p>	10			<ul style="list-style-type: none"> ・サクランボや栗拾い交流会を通して、地域の学校の児童と活動する機会を設定している。 ・サクランボ狩りや栗拾い等の交流事業を通して、地域の保育施設との交流をしている。 ・さくらんぼ狩りや栗拾い交流会を通して、一緒に活動する機会を設けている。 ・サクランボ狩りや栗拾いを通して近隣の保育所やこども園との交流を行っている。 ・さくらんぼ交流会や栗拾い交流会で地域の保育園と交流事業を行っている。 交流会に参加していない子にもさくらんぼや栗を渡して交流会があった事を伝えると印象に残りやすいのではないかな。 ・交流事業として、さくらんぼ狩りと栗拾い交流会を実施している。当日参加した児童には連絡帳にその様子を記入し、収穫した物はお土産として家庭に持って帰っている。 	<p>今年度も地域の保育園やこども園との交流会（さくらんぼ交流会・栗拾い交流会）を、実施しました。今後も新規の事業所を招待しながら交流できる活動を計画していきます。</p>
	33	<p>日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。</p>	10			<ul style="list-style-type: none"> ・支援者側から利用者の日々の姿や気になる行動を伝えながら、保護者から家庭での様子や困りごとを聞くように心がけている。また、支援に組み込めるものは即対応するように心がけている。 ・連絡帳を通したり、送迎時には直接話をする等、情報共有出来るよう心掛けている。 ・参観日等で会った際に直接話を聞いて共通理解を持てるようにしている。 ・来所時や連絡帳を介して状況を伝え、情報を共有している。 ・連絡帳等で普段の様子を伝えている。 ・連絡帳を介して事業所での姿や家庭での姿を確認し合っている。課題については個々の支援計画書を基に活動プログラムを作成し、それに沿って支援を行っている。 	<p>丁寧に状況を伝えながら、発達や課題について共通理解ができるよう努めています。</p>

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加出来る研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会のグループ討議内での情報提供や、送迎時等、保護者と顔を合わせた時に保護者が無理なく行える対応の仕方等の情報提供をしている。 ・相談があった際には、その都度対処方法等を助言したり、研修を兼ねた保護者会を実施する等している。 ・保護者会での子育て学習会やファミリー研修会で保護者向けの研修会を行っている。 ・連絡帳等、または定期的に開かれている保護者会に参加していただき情報提供をしている。 ・保護者会を行っている。 ・保護者会ファミリー研修会でグループ討議会の場を設定している。 ・運転業務が主のため、わからない。 	保護者が参加できる研修会を開催したり、保護者同士で話し合いができる場を設けながら、柔軟に対応できる力がつくようにしていきます。また、保護者の悩みや相談には、その都度対応しています。
保護者への説明責任等	35	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・運営規定や利用者負担は丁寧に説明している。また、支援プログラムは3月までに完成させて公表する。利用者に合わせた月のプログラムは出来次第確認するようにしているが、提出が遅れているので期日を意識しながら業務を行う必要があるのではないかな。 ・契約時や必要に応じて説明している。 ・契約時や問い合わせがあった場合は、児童発達支援管理責任者が丁寧な説明を行っている。 ・契約時には重要事項説明書を基に説明を行っている。 ・契約時に説明している。 ・分かりやすい言葉で丁寧に伝えている。 	丁寧な説明をしています。（支援プログラムは、3月中に完成させます）
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意志の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や保護者の意志を尊重しながら作成するために、利用者や保護者の意向を確認している。 ・計画作成時に内容を説明し、確認した上でサインを頂いている。 ・計画を作成する前に子どもや保護者のニーズ確認し、その子に合わせてスモールステップで目標を達成していけるように計画を作成している。 ・アセスメントシートを使用し、一人ひとりの全般の情報を整理したうえで、本人や保護者の要望とすり合わせながら計画を作成している。 ・支援計画を作成するにあたり、保護者の意向を確認している。 ・保護者の意向を確認している。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	計画作成前に、必ず利用者及び保護者のニーズを確認した上で優先順位を決めています。

37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に説明した上で、同意を得ている。 ・毎月サービス提供記録を作成し保護者へ提供、確認し捺印を頂いている。 ・担当者または児童発達支援管理責任者が丁寧に説明している。 ・作成した計画書については、丁寧に説明をし、同意した上で署名をいただいている。 ・説明を行い、同意を得ている。 ・丁寧に説明をし、同意を得ている。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	計画を示しながら丁寧に説明をし、同意をしていただけたら保護者から署名を頂いています。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な助言と支援を行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・参観日や保護者会、家族送迎で来所した際に助言を行っている。 ・定期的に子育てについての悩みを確認しながら、その都度対応している。 ・担当者または児童発達支援管理責任者が行っている。 ・随時行っている。 ・相談があった際には、上司に報告して助言をしている。 ・保護者に相談事の有无を確認しながら、相談を受けた際には丁寧に対応している。 	定期的に声を掛けながら、子育ての悩みについての相談に応じ、助言をしています。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や保護者参加型の行事を通して、保護者同士で交流する場の提供をしている。同様にきょうだい同士で交流する場ともしている。 ・保護者会や親子遠足、奉仕活動を開催することで、関わる機会を設けている。 ・参観日や保護者会等で保護者同士が交流できる機会を設けている。また、森田学園祭ではきょうだいと一緒に参加することで、交流できる場面もある。 ・父母の会は無いが、保護者会は定期的に行っている。兄弟同士での交流は交流行事を通して機会を設けている。 ・今年度4回の保護者会を実施している。 ・保護者会を実施し、子育ての悩み等をグループ毎に話し合える場を設けた。 	今年度は保護者会を4回開催しています。保護者会を開催しながら保護者同士の連携や情報交換ができる機会を設けていきます。また、行事にきょうだいの参加を募りながら、きょうだい同士で交流する機会を設けています。

40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・即対応を心掛け、対応するようにしている。 ・窓口を設定し、苦情があった場合はすぐに対応が出来る環境を整えている。 ・体制を整えていて、相談等があった際は迅速に対応するように心掛けている。 ・苦情があった際には、すぐ対応できる環境となっている。 ・相談があった際には、上司に報告して助言をしている。 ・玄関に意見箱を設置しているほかに苦情受付窓口が設定され、対応できる体制を整えている。 	事業所の玄関に意見箱を設置しています。実際に苦情に繋がる事案はありませんでしたが、利用者や保護者には丁寧な説明を心掛けます。また、相談には迅速に対応していきます。
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌として発行している。 ・年一回、会報を発行している。行事等については、毎月の利用予定表に記載している。 ・今年度はこれから広報誌が配布される予定となっている。また、行事や日常の様子の写真を連絡帳につけ、活動の様子を伝えているが、保護者からの意見として、「わからない」との回答があった。利用回数等により、活動概要等が伝わっていない方がいたかもしれないので、今後は全体に発信していけるようにできればと思う。 ・年初めに広報誌を発行し、どのような活動をしていたのか、どのような行事を控えているのか等を発信している。 ・毎年1回、広報誌を発行している。年2回の広報誌発行または、契約時に事業所の様子を伝える為に発行している事を伝えると広報誌を発行している事が伝わるのではないかな。 ・年に1回組合の広報誌を発行し、保護者や関係機関に配布している。HPに情報が発信された際にはその都度お知らせする事で、周知されるのではないかな。 	当組合の広報誌を発行し、保護者や関係機関に配布しています。また、活動概要や行事、連絡事項等は、月毎の予定表を通して発信しています。広報誌の発行回数に関しては増やす方向で検討しています。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所を出た時点で個人情報を口にしない等、個人情報に関しては十分に留意しながら仕事をしている。 ・個人情報が記載された書類はシュレッダーにかける等、特に気を付けている。 ・個人情報を扱う仕事は事業所内で行っている。 ・個人情報については十分留意されている。 ・十分留意している。 ・十分に注意している。 	個人情報は十分留意しながら管理しています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・相手に合わせて言葉を砕いたり、イラストや写真を用いて伝わるための配慮をしている。 ・個々の特性や性格を配慮しながら、関わる事を心掛けている。保護者に対しても、丁寧な言葉での関わりを心掛けている。 ・専門用語等使用せず、分かりやすい言葉で伝えるように心掛けている。 ・特性を考慮したうえで対応をしている。 ・配慮がされている。 ・利用者にわかりやすい言葉で声掛けをすることを心掛けている。 	利用者に寄り添った形で意思の疎通や情報伝達に務めながら、保護者に対しても丁寧な対応を心掛けています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者参加型の行事は行っているが、地域住民を招待するまでには至っていない。 ・交流会へ招待する等している。 ・さくらんぼ狩りや栗拾い等、地域の保育園やこども園に声を掛けて招待している。 ・地域のこども園や小学校を招待し、さくらんぼ狩りや栗拾い等の行事を行っている。 ・コロナ禍より大事をとり、一部のみ招待している。 ・さくらんぼ交流会や栗拾い交流会で地域の保育園と交流事業を行っている。 ・今年度は行っていない。 ・運転業務が主のため、わからない。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	支援者間で意見を出し合いながら、より良い形で地域住民を招待できるような行事や活動を検討していきます。

45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルに関しては、保護者会を通して保護者に周知している。また、発生を想定した研修を実施した。 ・各種マニュアルを策定し、職員間では周知され訓練を実施している。保護者へは契約時や保護者会で説明し、周知している。 ・各種マニュアルを策定し、周知されている。また、参観日に保護者も参加してもらい、避難訓練を実施した。 ・各種マニュアルを策定し周知している。訓練については総合防災訓練や消火訓練、放送訓練、不審者対応訓練などを行っている。 ・実施されている。保護者会で伝えたり、参観日で避難訓練を実施しているが、参加していない保護者には伝わらない為、参観日は年1回は参加して頂く事をお願いした上で避難訓練に参加してもらうことはどうか。 ・マニュアルが作成され、訓練を実施しているものもある。 	各マニュアルを再確認し、緊急時や防犯、感染症に対して適切な対応が出来るようにしています。
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を行っている。 ・災害に備えての防災教育の実施や、年二回の総合防災訓練、職員は毎月の消火訓練や、年一回の不審者対応訓練等を行っている。 ・業務継続計画は作成されており、避難訓練や消火訓練など、定期的に行っている。 ・策定されている。 ・毎月、児童発達支援の避難訓練を実施している。避難訓練を実施した日の利用児童には必ず避難訓練の様子を記入していくと分かりやすいのではないかな。 ・職員による消火訓練や、総合防災訓練を実施している。 	支援者による消火訓練と利用者と一緒に行う災害を想定した避難訓練を毎月行っています。今後も安全に避難誘導を行う為に障がい特性の理解や個々の性格についても、支援者間で共有しながら連携を取っていきます。

	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・利用前や利用が始まってからの服薬状況や発作等は、漏れのないように詳しく状況を確認している。また、予防接種（インフルエンザ等）についても確認するようにしている。 ・契約時や必要に応じて、保護者へその都度確認している。 ・契約時や年度初めに確認している。 ・投薬についての処方箋をコピーさせていただいている。 ・契約時に確認している。 ・契約時に確認し、家庭調査票に記入してもらっている。 	契約時、または、利用途中であっても服薬を開始する際には保護者から詳しく情報を確認しています。予防接種に関しては1年毎に確認しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からアレルギー検査表を頂き、バナナとピーナッツアレルギーがあった事が分かった。栄養士に情報提供をしている。 ・病院での検査結果を基に、職員全体で把握し栄養士や厨房職員と連携しながら、慎重に対応している。 ・医師の意見書を基に対応し、食事が提供される際は厨房職員と支援者が声に出して確認している。 ・除去食を提供している。 ・アレルギーがある子に対応している。 ・職員で把握し、厨房職員と連携を取りながら対応している。 ・完全除去食とし、厨房内では原因食物のコンタミネーションに注意し、手袋、ラップを使用している。提供時にも名札を使用し、配膳職員へ口答での確認をしている。 ・バナナ、ピーナッツアレルギーの方がいるため、成分を確認している。 	食物アレルギーについては、支援者全体で把握し栄養士や調理員と連携しながら進めています。今後も定期的に保護者と情報交換をしながら適切な対応に務めます。

非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理が十分された中で支援をしている。 ・研修や訓練を実施、支援が行われている。 ・安全計画を作成し、計画に沿って職員に対して交通安全指導や自然災害指導を行っている。また、遊具の点検等も行われ、安全に配慮しながら支援を行っている。 ・安全計画は作成されている。また、用途に応じて対応をしている。 ・安全計画が作成され実施している。 ・安全計画を作成し、講師を招いた研修を行った。 	計画を作成し、必要な訓練に参加しています。今後も安全の確保に十分留意しながら支援を行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・5月の保護者会の際に、周知してもらえよう安全計画の説明をした。また、参加できなかった方には資料を配布して周知できるようにしている。 ・緊急連絡先等を確認しながら、家族へ周知している。 ・保護者会で資料を基に保護者へ周知している。また、保護者会へ参加できなかった方に関しては、報告書とともに安全計画について伝えている。 ・保護者会や文書等にて周知している。 ・保護者会で周知している。 ・保護者会で説明したが、参加していない保護者に関しては会議内容の報告書を配布している。 	保護者会にて安全計画について説明をしました。また、参加できなかった方には報告書として書面を渡すことで、周知してもらおう形をとっています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で共有し、再発防止に向けた方策を検討している。 ・ヒヤリハットが発生した際は、報告書を作成し職員全体で情報共有している。 ・今年度はヒヤリハット事例が起きていないが、あった際は共有して再発防止に向けて検討している。 ・職員全員で情報を共有し、再発防止に努めている。 ・ヒヤリハットを作成し周知している。 ・ヒヤリハット報告書を作成、職員間で共有しつつ、定期的に振り返り再発防止に繋げている。 	定期的にヒヤリハットを振り返りながら、日々の支援や再発防止に繋げています。

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			<ul style="list-style-type: none"> ・虐待を防止するため、セルフチェックリストを使って自分自身を振り返っている。また、虐待防止委員会への参加で、研修する機会を確保している。 ・虐待防止委員会を設置している。セルフチェックリストを実施したり、職員会議で研修を行っている。 ・虐待防止の為、職員全員がセルフチェックリストで自身の状態を把握できる機会を設けている。 ・虐待防止委員会を設置している。また、虐待防止に関して定期的に外部研修へ参加したり内部研修を行っている。 ・虐待防止のチェックリストを行っている。 ・職員会議で虐待防止について確認し合うほか、障害者虐待防止職員セルフチェックリストを活用している。 	4月の職員会議にて虐待防止について取り上げ、支援者間で話し合いました。また、12月には障害者虐待防止職員セルフチェックシートを活用して、再確認をしています。今後も、虐待をしない・させない環境を教えていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在まで身体拘束を必要とする利用者がいない為記載している利用者はいないが、必要とする場合は組織的に決定した上で計画に記載する事としている。 ・現在は該当となる児童はいないが、いる場合は対応できる体制は整っている。 ・今年度は対象児童がいらない為、行っていないが、行う場合の体制は整えている。 ・現在は対象となる児童がいらない。 ・児童発達支援計画に記載されている。 ・現在は対象児童がいらない。 ・運転業務が主のため、わからない。 ・厨房職員なので、支援に関して詳しく分からない。 	現在、対象者はいません。今後、対象となる利用者がいる場合には、切迫性、非代替性、一時的なものかを組織的に決定しながら丁寧に対応します。